

「地域医療を担う医師育成支援事業」 徳島県地域医療支援センター

「自己心膜を用いた 大動脈弁形成術の実際」



講師：尾崎 重之 先生

東邦大学医療センター大橋病院・心臓血管外科教授

日時： 平成 29 年 2 月 17 日 (金) 18 時～

場所： パークウェストン

〒770-0808 徳島県徳島市南前川町 3-1-22

TEL : 088-624-3333

略歴：

東邦大学医療センター大橋病院・心臓血管外科教授。

防衛医科大学校卒。

自衛隊医官、亀田総合病院、3年半ベルギー・ルーヴァン・カトリック
大学留学、新東京病院、防衛医大病院に勤務

03年より現職

大動脈弁狭窄症に対する治療法として、人工弁（生体弁・機械弁）を用いた大動脈弁置換術が一般に行われています。一方で、「異物」である人工弁を体内に入れることに抵抗を感じる患者さんや、希ですが術後に拒絶反応を起こすリスク、またワルファリンを服用するために食事制限や運動制限など、術後QOLを少なからず低下させる場合があります。

尾崎先生の「自己心膜を使用した大動脈弁形成術」は、自己心膜を使用し、弁を形成する手術法で、拒絶反応はなく、術後ワルファリンを服用する必要もありません。また日本人に多い狭小弁輪患者での術後圧格差も少ないのが特徴で、術後QOL向上が期待出来る手法です。

また今後成長する心臓疾患患者での小児心臓血管外科でも本法使用が広がっています

徳島大学病院でも本法導入にあたり、その手技・メリットを広く認知して頂くために、本法の特徴について尾崎先生にお話し頂きます

主 催； 徳島大学病院 心臓血管外科

徳島大学病院 循環器内科

共 催； 徳島県地域医療支援センター

徳島大学病院キャリア形成支援センター

徳島大学大学院医歯薬学研究部医療教育開発センター

お問い合わせ先

徳島大学病院心臓血管外科 総務医長 黒部

(内線 3621、外線 088-633-7581、hirotsugu.kurobe@tokushima-u.ac.jp)



この講演会は医科学教育部の大学院特別講義を兼ねています